

[目次へ](#)[戻る](#)[<<](#)[>>](#)

コントロールパネルの（基礎編）

[コントロールパネルを開く](#)[コントロールパネルの概要](#)[ペンのタブ](#)[マウスのタブ](#)[コントロールパネルのボタン](#)[ペン先の筆圧感触を調整する](#)[ペン先のダブルクリックアシストを調整する](#)[ペンスイッチを設定する](#)[ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能](#)[テールスイッチの筆圧感触を調整する](#)[傾き感度を設定する](#)[2D マウスのボタンを設定する](#)[2D マウスのホイールを設定する](#)[タブレットから画面へのマッピングを設定する](#)[ペンモードのマッピングタブ](#)[マウスモードのマッピングタブ](#)[ポップアップメニューを設定する](#)[キーストロークを追加する](#)[ポインタの速度を設定する](#)[マッピングオプションを追加する](#)[ポップアップメニューから項目を削除する](#)[ファンクションボックスの機能を設定する](#)[シリアルタブレットの接続を確認する](#)[USB タブレットのモードを設定する](#)[プルダウンメニュー](#)

コントロールパネルの使い方（応用編）

[ペン先の筆圧感触を詳細に設定する](#)[クリック荷重を調整する](#)[筆圧曲線を調整する](#)[テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する](#)[マッピングを詳細に設定する](#)[設定手順の例](#)[プロフェッショナルデバイスを設定する](#)[エアブラシのホイール](#)[4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)[4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う](#)[4D マウスのホイールを設定する](#)[アプリケーションごとに設定を変える](#)[ステップ1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録](#)[ステップ2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定](#)[特定のアプリケーションの設定を削除する](#)[ステップ3... 設定が自動的に切り替わります](#)[入力デバイスごとに設定を変える](#)[ステップ1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録](#)[ステップ2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定](#)[入力デバイスの設定を削除する](#)[ステップ3... 設定が自動的に切り替わります](#)[同じタイプの入力デバイスを複数使う](#)[設定内容を他へコピーする](#)[複数のタブレットを接続する](#)

コントロールパネルを開く

1. ペンを使って Windows の「スタート」ボタンをクリックしてください。そして、「設定 (S)」から「コントロールパネル (C)」を選択してください。
2. タブレットのアイコンをダブルクリックしてください。



ダブルクリックする

「Wacom Tablet」というコントロールパネルが現れます。

コントロールパネルの概要

このコントロールパネルを操作して、タブレットや入力デバイスを設定します。

左のリストに特定のアプリケーションを1つ登録します。*

プルダウンメニュー

ダイアログボックスなどを開きます。

アプリケーションリスト*

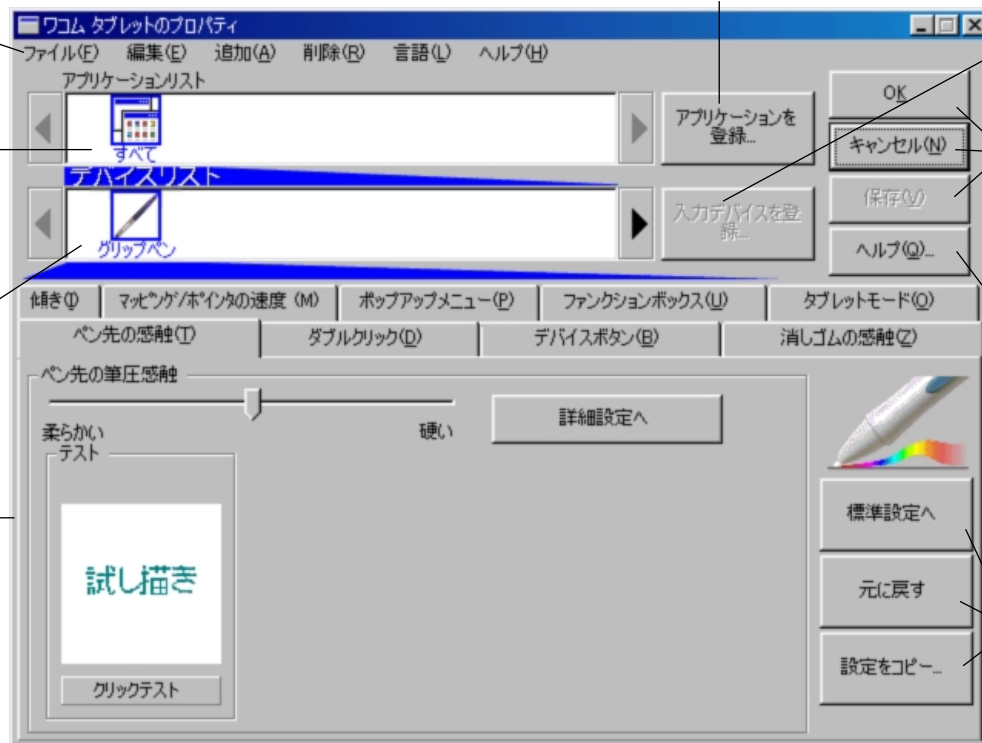
特定のアプリケーションを登録できます。

入力デバイスリスト**

上で選択されたアプリケーションに属して設定される入力デバイスです。

タブ

上で選択された入力デバイスに属する設定内容です。変更した場合は、コントロールパネルを閉じる前に「保存」か「OK」のボタンを押してください。



左のリストに入力デバイスを1つ登録します。**

コントロールパネルのボタン

コントロールパネル全体に働きます。

オンラインヘルプを開きます。内容は、このマニュアルの「コントロールパネルの使い方」の基礎編と応用編と同じです。

タブのボタン

開いているタブに対して働きます。

ポインタをボタンなどの上でしばらく止めると、バルーンヘルプが現れます。

* アプリケーションごとに異なる設定ができます。はじめてペンの設定をするときは操作する必要はありません。

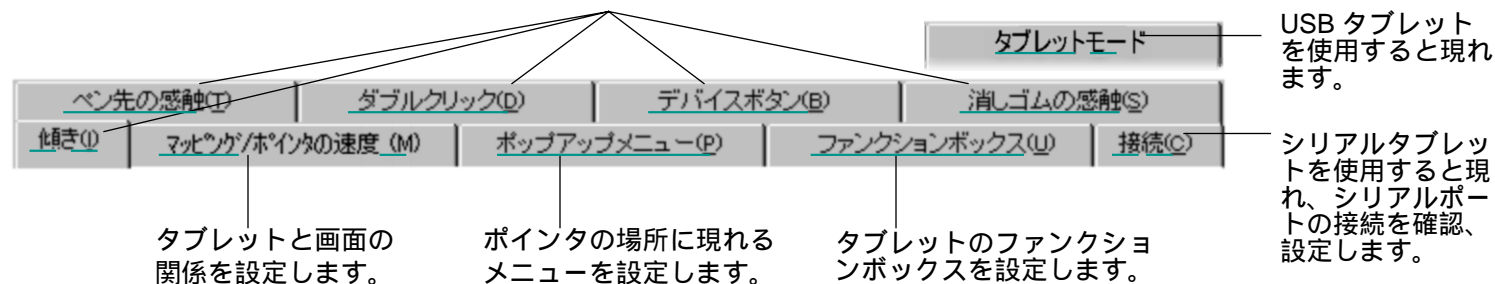
** ... 2つ以上の入力デバイスを使うとき、入力デバイスを選択するとタブの設定が切り替わります。1本のペンだけを使うときは、必要なタブがすべて現れていますので操作する必要はありません。

タブ

タブレットやペンなどを設定するには、コントロールパネルのタブを使います。

ペンのタブ

ペンを設定します。

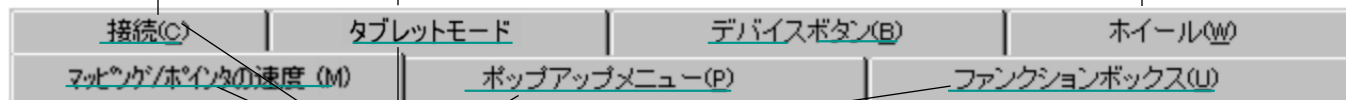


マウスのタブ

シリアルタブレットを使用すると現れます。

USB タブレットを使用すると現れます。

2D マウスや 4D マウスを選択すると現れます。



これらのタブの設定は、入力デバイスの別にかかわらず**共通**です。

タブのボタンは、開いているタブの設定内容に対してのみ働きます。

標準設定へ

—— 開いているタブの設定内容を、標準設定に戻します。

元に戻す

—— 開いているタブの設定内容を、最後に「OK」ボタンまたは「保存」ボタンを押したときのもの（いずれか新しい方）に戻します。設定し直すとき便利です。

設定をコピー...

—— 開いているタブの設定内容を、現在の入力デバイスやアプリケーションから他のものへコピーするため、ダイアログボックス「[設定をコピー ...](#)」を開きます。


それぞれのタブを開いて、タブレットやペンなどを用途に合わせて使いやすく設定してください。

コントロールパネルのボタン

コントロールパネルのボタンは、タブの設定内容と、アプリケーションリスト、入力デバイスリスト、プルダウンメニューのすべての項目に対して働きます。

OK

... コントロールパネルを閉じて変更内容を保存します。

キャンセル

... コントロールパネルを閉じますが変更内容は保存しません。以前の設定のままです。

保存

... コントロールパネルを開いたまま変更内容を保存します。

ヘルプ...

... オンラインヘルプを開きます。

ダイアログボックスの中のヘルプボタンを押すと、そのダイアログボックスの説明が現れます。

ペン先の筆圧感触を調整する

「ペン先の感触」のタブを選択します。太い線を引いたり、軽いタッチでクリックしたいときは、スライダを「柔らかい」の方へ動かします。力を入れて描きたいときは、「硬い」の方へ動かします。

「硬い」から「柔らかい」までを6段階で設定します。

[詳細設定](#) を表示します。

詳細設定が有効なときチェックマークが付き
ます。



現在設定されている筆圧感触をテストします。この中で、荷重を変えながら何回か試し描きしてください。

現在のクリック筆圧をテストします。ここをペン先で押してください。

ペン先のダブルクリックアシストを調整する

ダブルクリックのタブの中で、ダブルクリック距離（2回目のクリックの場所がずれてもよい距離）を大きくし、ダブルクリックの速度を遅くすると、ペン先によるダブルクリックが簡単にできるようになります。ただし、グラフィックアプリケーションでは、線の引きはじめにポイントがダブルクリック距離の外へ出るまで、あるいはダブルクリックの時間が過ぎるまでは線が現れないことがありますので、ダブルクリック距離は小さくしてセカンドサイドスイッチによるダブルクリックをお勧めします。

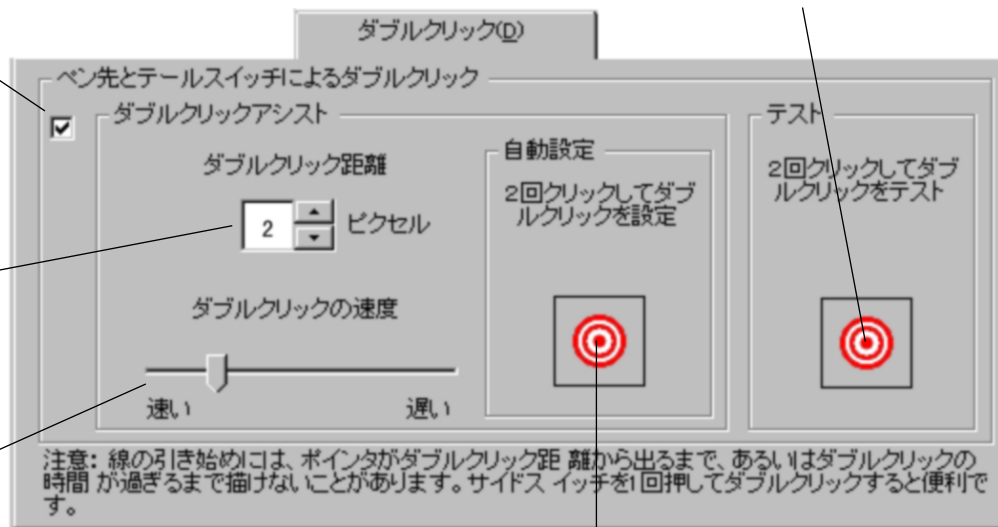
チェックマークを付けると、**ダブルクリックアシスト**の設定が使用されます。

参考: ダブルクリックアシストは、アプリケーションを切り替えることにより自動的に ON/OFF させることができます。[アプリケーションごとに設定を変える](#)

2回目のクリックがずれてもよい距離を 1 から 25 の範囲で設定できます。数値を入力するか、上下の矢印をクリックしてください。

ペン先でダブルクリックするとき、遅くするとゆっくりダブルクリックができます。ただし、グラフィックアプリケーションで線を引き始めるとき、ダブルクリックの時間が過ぎるまで線が引けないことがあります。

設定を使用する前に、ターゲットをダブルクリックしてテストしてください。



ターゲットをペン先でダブルクリックすると、その特長をもとにダブルクリックの距離と速度を自動設定します。

ペンスイッチを設定する

デバイスボタンのタブの中でサイドスイッチやセカンドサイドスイッチ、テールスイッチ、ペン先が押されたときに働く機能を設定します。

デバイスボタン(B)

テールスイッチの機能

消しゴム

スイッチの機能

左ダブルクリック

右ボタンクリック

左ボタンクリック

テールスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

セカンドサイドスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

サイドスイッチが押されたときに働く機能を設定します。

ペン先が押されたときに働く機能を設定します。グラフィックアプリケーションを使用するときは左ボタンクリックに設定してください。

ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能

それぞれのスイッチが押されたときに働く機能を、プルダウンメニューの以下の項目の中から選択します。スイッチによっては、選択肢が制限されているものがあります。

- 左ボタンクリック** ----- マウスの左ボタンを押すことに相当します。少なくともいずれか1つのペンスイッチに設定されていないとクリックができなくなります。(ペン先の標準設定)
- 左ダブルクリック** ... ----- スイッチを1回押すとダブルクリックしたことになります。ペン先でダブルクリックするより簡単です。(セカンドサイドスイッチの標準設定)
- 右ボタンクリック** ... ----- マウスの右ボタンを押すことに相当します。(サイドスイッチの標準設定)
- 中ボタンクリック** ... ----- マウスの中ボタンを押すことに相当します。
- 左クリックロック** ... ----- スイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。次にペン先などでクリックすると、左ボタンから指を放すことに相当します。



キーストローク ...----- スイッチを押すと、このダイアログボックスで設定するキーボード入力の代わりにします。設定したいキーを入力したら、「OK」ボタンをクリックしてください（リターンキーも入力できるのボタンを押すのには使えません）。キーストロークには1つの文字キーやファンクションキーに加え、「Shift」_⌘、「Alt」_⌘、「Ctrl」キーを組み合わせることができます。「Shift」_⌘、「Alt」_⌘、「Ctrl」キーを入力する場合は同時に文字キーも押してください。

キーストロークの登録

キーストローク:

下の「OK」と「キャンセル」のボタンは、入力ツールで押してください。

クリア キャンセル OK



Shift、Alt、Ctrl キー ... ----- 以下のダイアログボックスで設定する Shift、Alt、Ctrl キーなどの入力の代わりにします。



Shift、Alt、Ctrl キーの組み合わせに、「クリック」を加えることができます。



筆圧一定 ----- スイッチが押されている間、筆圧レベルは一定です。たとえば、同じ太さで線を引くことができます。

ペン マウス モード ----- ペンモード（絶対座標）とマウスモードを切り替えます。スイッチをはじめてこの機能に設定すると、以下の画面が現れて、ポインタの加速と速度を設定できます。

マウスモードでのポインタの速度を設定します。

マウスモードでのポインタの加速を設定します。



この画面はコントロールパネルの他の場所から開くことができますが、ポインタの加速と速度は、設定しているそれぞれの入力デバイスとアプリケーションについて1つ設定できます。



- ポップアップメニュー** ----- ポインタの場所にポップアップメニューを表示します。 [ポップアップメニューを設定する](#)
- 消しゴム** ----- スイッチの機能を消しゴムに設定します（テールスイッチの標準設定）。
- 無効** ----- (ペンスイッチのみ) スイッチが押されても何もしません。
- アプリケーションの設定に ..** (4D マウスやレンズカーソルのみ) ボタンの番号がアプリケーションに送られます。タブレットとカーソルに対応している CAD アプリケーションでのコマンドの実行などにお使いください。

テールスイッチの筆圧感触を調整する

「消しゴムの感触」のタブを選択します。軽いタッチで消したいときは、スライダを「柔らかい」の方へ、力を入れて消したいときは、「硬い」の方へ動かします。

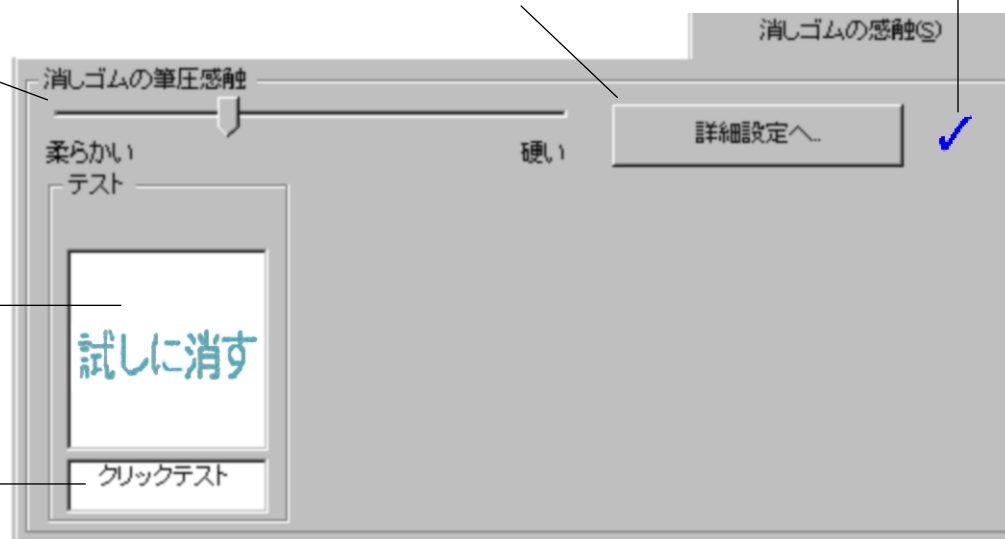
「硬い」から「柔らかい」までを6段階で設定します。

詳細設定を表示します。

詳細設定が有効なとき
チェックマークが付きます。

現在設定されている筆圧感触をテストします。この中で、荷重を変えながら何回か消してください。

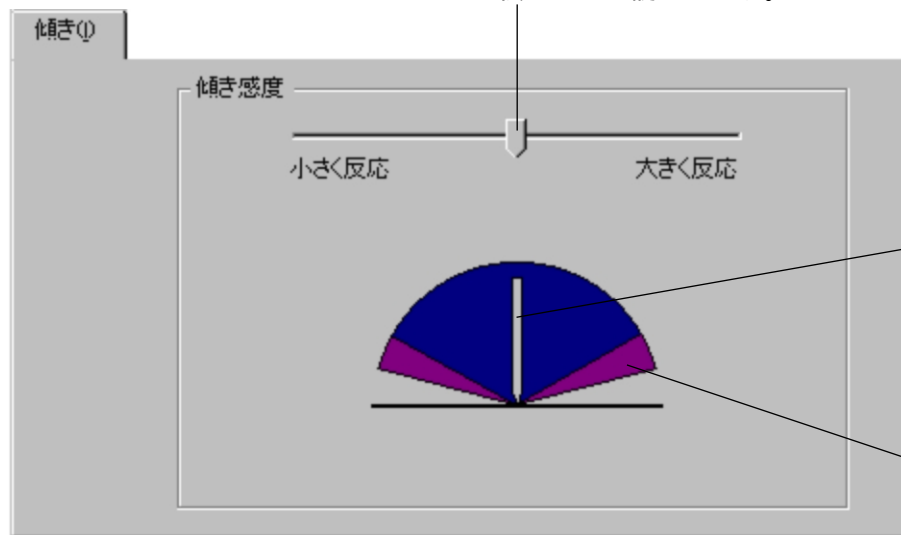
現在のクリック筆圧をテストします。ここをテールスイッチで押してください。



傾き感度を設定する

「傾き」のタブを選択します。アプリケーションに伝わるペンの傾きの感度を調節します。

実際のペンの傾きをどれくらいの感度でアプリケーションに伝えるかを調整します。



アプリケーションに伝わる傾きの方向と大きさが、視覚的に表示されます。

参考：傾きの方向も対応アプリケーションに伝わります。たとえば、ペン先の方向を操作できません（アプリケーションの対応が必要です）。

アプリケーションに伝わる傾きの範囲です。「傾き感度」の設定により、広くなったり狭くなったりします。アプリケーションに伝わる傾きは約 60° までです。

どのアプリケーションが傾きに対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

<http://tablet.wacom.co.jp/>

2D マウスのボタンを設定する

「デバイスボタン」のタブを開いて、2D マウスのボタン機能を設定します。



ボタンを押したときに働く機能を選択します。

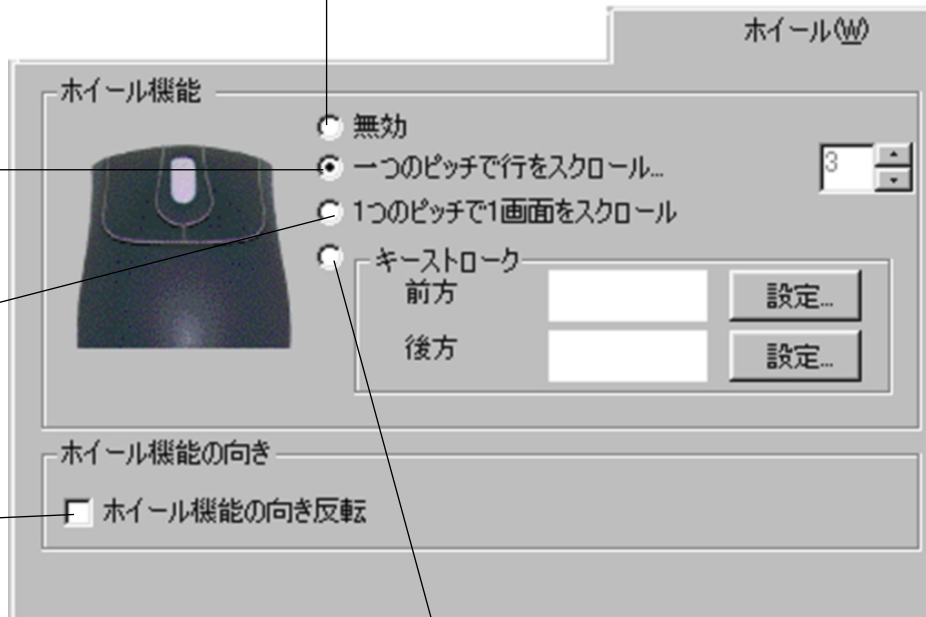
設定できる機能は、ペンスイッチと同じです。[ペンスイッチ](#)や[ボタンスイッチ](#)に設定できる機能

ボタンは複数同時に押すことができます。例：Ctrl+Z など。

2D マウスのホイールを設定する

2D マウスのホイールは、Microsoft IntelliMouse に対応する多くのアプリケーションで、IntelliMouse と同様にお使いいただけます。

ホイールを回しても何もしません。



ホイールのピッチを1つ回すごとに、右のボックスで設定した行数をスクロールします。1行から15行まで設定できます。

ホイールのピッチを1つ回すごとに、1画面ずつスクロールします。

選択すると、ホイール機能の前方と後方が入れ替わります。

ホイールを回すと、ここに設定したキーストロークがピッチごとに繰り返しアプリケーションに送られます。ズームイン、ズームアウトなどに便利です。キーストロークを設定するには「設定」ボタンを押します。

タブレットから画面へのマッピングを設定する

「マッピング/ポインタの速度」のタブを開いて、ペンの動きとポインタの動きとの関係を設定します。

ペンモードのマッピングタブ

座標検出モード がペンモード（絶対座標）のときは、画面のポインタの位置が、操作エリアの読み取り高さ以内のペンの位置に常に対応します。

クイックポイントモード (A4 タブレット以上)

メニュー選択などの一般的な操作のため小さなクイックポイントエリアを下に、グラフィック加工用の大きな操作エリアを上に出します。クイックポイントエリアは全画面をカバーできます。大きな操作エリアには「表示エリア」と「画面との関係」を設定できます。

マッピングを詳細に設定する ダイアログボックスを開きます。

参考: 複数の入力デバイスを入力デバイスリストに登録した場合、このタブの「タブレットの向き」以外は入力デバイスごとに設定されます。設定したい入力デバイスを使ってコントロールパネルを開いてください。

座標検出モード

ペンモードでは、画面のポインタの位置が操作エリア内のペンの位置に常に対応します（絶対座標）。ペンやエアブラシの標準設定です。

マウスモードでは、操作エリア内の読み取り高さ以内でペンが動いたときだけ画面のポインタが移動します（相対座標）。2D マウスや 4D マウスの標準設定です。

参考：ペンモードとマウスモードとの切り替え機能がタブレットのファンクションボックスや画面に現れるポップアップメニューに登録されていると、そのボタンをクリックしても切り替えられません。 [ファンクションボックスの機能を設定する](#)、 [ポップアップメニューを設定する](#)

タブレットの向きを変える

以下のような場合に、タブレットの向きを変えると便利です。

ファンクションボックスを横か下に配置して使いたいとき。

縦に長い素材を、広い操作エリアで扱うとき。

ケーブル取り付け位置が操作の妨げになるときなど。

通常 ----- 標準設定です。

時計回り 90° ----- 操作面は縦長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは右になります。

逆さ ----- 操作面は横長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは下になります。

反時計回り 90° ----- 操作面は縦長に（A4 正方形タブレット以外）、ケーブルの取り付け位置とファンクションボックスは左になります。

向きの設定が終わったら、ポインタがペンの動きに付いてくることを確認してください。

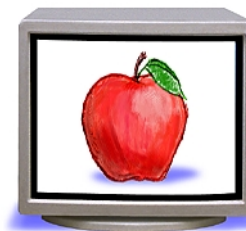
重要：「タブレットの向き」は、アプリケーションリストと入力デバイスリストの中にあるものすべてに適用されます。

タブレットとの関係

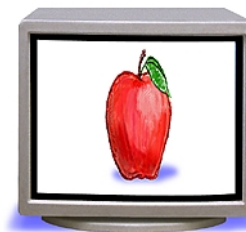
タブレットの操作エリアが画面の表示エリアへどんな関係でマッピングされるかを設定します。



縦横比を保持：操作エリアの縦横比を表示エリアが保ちます。操作エリアを変えると（「操作面の一部分」）表示エリアも操作エリアの縦横比を保ちながら変形します。「画面の一部分 ...」から表示エリアを拡大縮小できます。



四隅を一致：選択された操作エリアが、選択された表示エリアにマッピングされます。縦横比は保持されません。操作エリアと表示エリアは独立して自由に設定できます。（標準設定）



タブレット操作エリア

操作面全体のうちの部分を操作エリアとして表示エリアにマッピングするかを設定します。

操作面全体を操作エリアとして画面にマッピングします。(標準設定)

操作面の一部を操作エリアとして自由に選択できるダイアログボックスを表示します。

(A4 タブレット以上)

クイックポイントエリア(小さな操作エリア)を下に、グラフィック加工用の大きな操作エリアを上 に設けます。クイックポイントエリアは、手首と指の小さな動きですべてのモニタの画面をカバーできます。大きな操作エリアに対しては「タブレットの表示エリア」と「タブレットとの関係」の設定ができます。



クイックポイントエリアを操作面の右下に設定します。

クイックポイントエリアを操作面の左下に設定します。

複数の入力デバイスをお使いの場合、それぞれの入力デバイスに対して異なる操作エリアを設定すると便利です。たとえば、ペンに操作面全体を設定し、4D マウスには小さなエリアを設定すると、ペンでは細かく絵を描くことができ、4D マウスではメニュー選択などコンピュータの一般的な操作を、速く大胆に行うことができます。



操作面の一部を操作エリアに設定

以下の3とおりの方法があります。

座標を入力して操作エリアを設定します。

1. 表示される座標値の単位を選択します。
(1カウントは、タブレットの解像度の線1本に相当します。)
2. 操作エリアの上端、左端、下端、右端の座標を入力します。このとき、座標の原点は操作面の左上です。


前面に表示されている長方形は操作エリアを、背景の長方形は操作面を表します。操作エリアを、頂点のハンドルを動かして設定します。上に表示されている座標値も連動して変わります。

手元を見ながら、入力デバイスで操作エリアの左上と右下をクリックして操作エリアを設定します。

1. 「開始」ボタンをクリックします。
2. メッセージボックスの指示や説明に従って操作エリアを設定します。

操作面の一部

タブレットの表示エリアを設定するには、以下の3つの方法があります：

1. 座標を入力
上 単位
左 下
 右
2. この中で操作エリア(長方形)のハンドルをドラッグ
操作面上に操作エリアを設定

3. 手元を見ながら操作エリアの左上と右下をクリック

メッセージ:

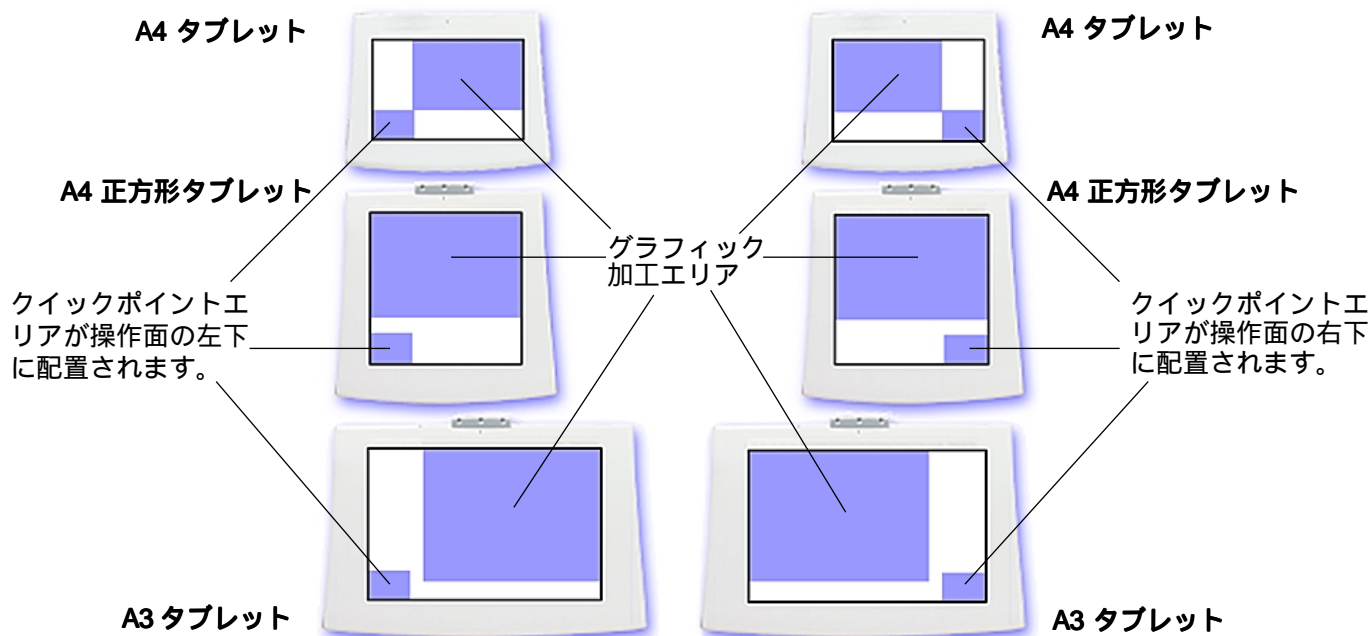
注意：操作面の一部を操作エリアに設定するとき、表示されたメッセージは必ずお読みください。



クイックポイントモード (A4 タブレット以上)

タブレットのファンクションボックスや、ポインタのポップアップメニューにクイックポイントモードが設定されていると、ワンタッチでクイックポイントモードに切り替えることができます。

[ファンクションボックスの機能を設定する](#)、 [ポップアップメニューを設定する](#)



クイックポイントエリアとグラフィック加工エリアの区分は、長方形の境界として透明オーバーレイシートに印刷されています。

タブレットの表示エリア

「タブレット操作エリア」で設定された操作エリアが、画面のどのエリアにマッピングされるかを設定します。操作エリアを画面の一部に設定すると、タブレットを使って画面のポインタを表示エリアの外に出すことはできません。

画面全体 ----- 操作エリアから届くポインタの表示エリアを、モニタの画面全体に設定します。



画面の一部分 ... ----- 「画面の一部分」のダイアログボックス表示します。3とおりの設定方法があります。

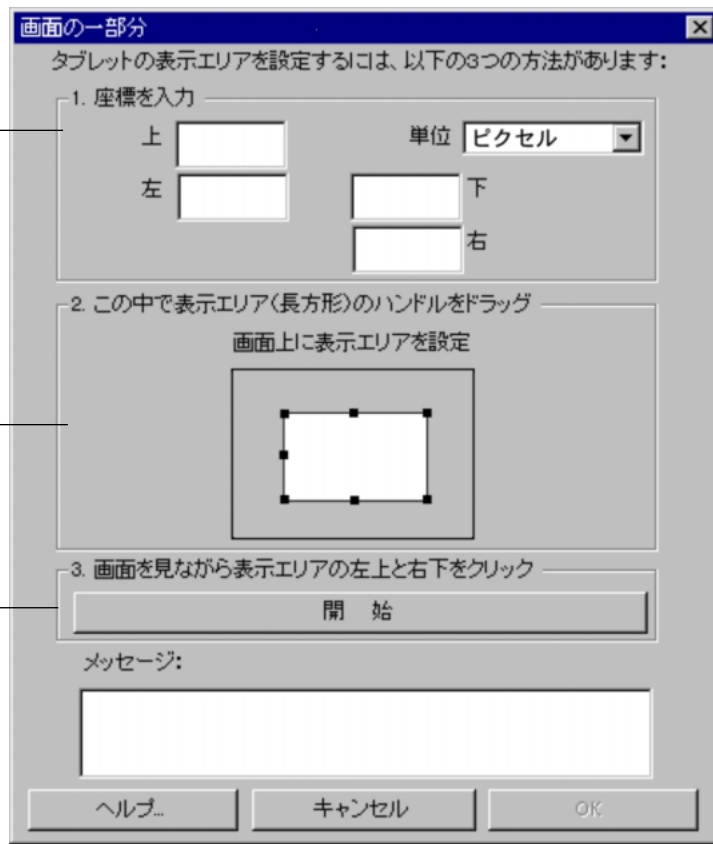
座標を入力して表示エリアを設定します。

1. ダイアログボックス内に表示される座標値の単位を選択します。
2. 表示エリアの上端、左端、下端、右端の座標を入力します。

前面に表示されている長方形は表示エリアを、背景の長方形は画面を表します。表示エリアの形と大きさを、頂点のハンドルをドラッグして設定します。表示エリアの位置を、長方形をドラッグして設定します。

画面を見ながら、ポインタで表示エリアの左上と右下をクリックして設定します。

1. 「開始」ボタンをクリックします。
2. メッセージボックスの指示や説明に従って操作エリアを設定します。



重要： 画面の一部分を表示エリアに設定するとき、メッセージボックスに表示されたメッセージは必ずお読みください。

マウスモードのマッピングタブ

座標検出モードがマウスモードのときは、操作エリア内の読み取り高さ以内でペンが動いたときだけ、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します（相対座標）。

マウスモード時のポインタの加速を選択します。

マッピング/ポインタの速度 (M)

座標検出モード

ペンモード(絶対座標) マウスモード

タブレットの向き

通常

ポインタの加速

高
中
低
なし

ポインタの速度

遅い 速い

詳細マッピングへ...

タブレットの向きを変えるとき選択します。

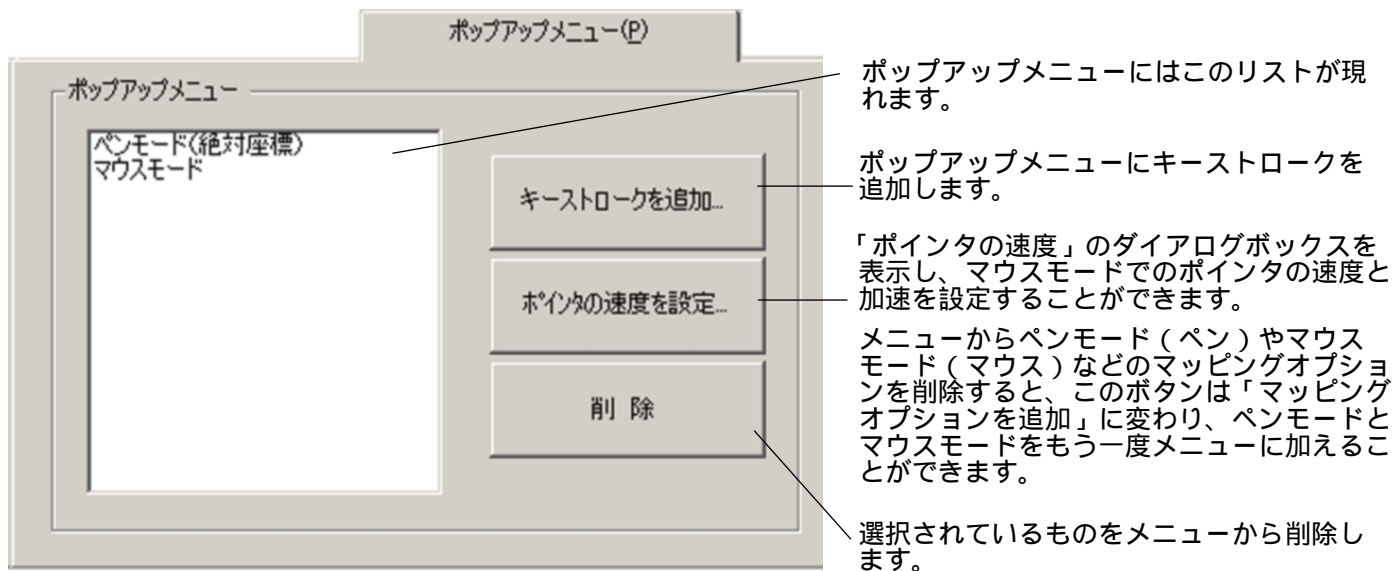
マウスモード時のポインタの速度を選択します。



ポップアップメニューを設定する

「ポップアップメニュー」のタブには、キーストロークとマッピングオプションを登録できます。

サイドスイッチなどの機能を「ポップアップメニュー」に設定すると、スイッチを押したとき、ここで登録したポップアップメニューがポインタの場所に表示されます。メニューの中から選択すると実行されます。実行せずにポップアップメニューを閉じるには、外側のどこかをクリックします。

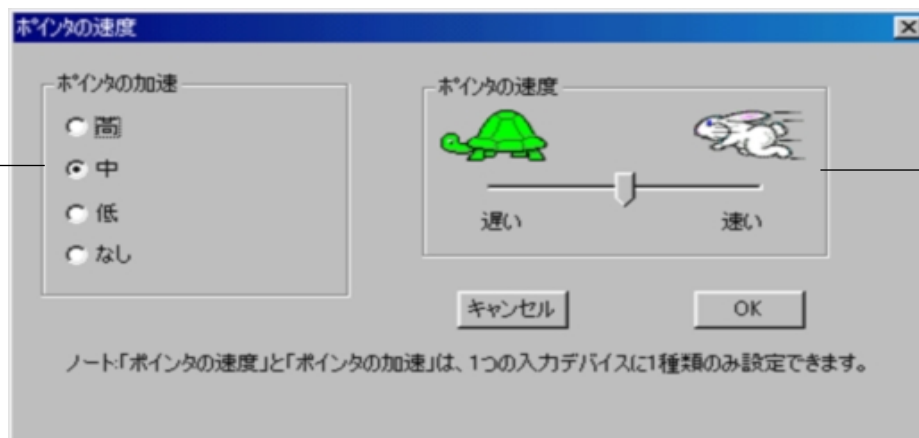


キーストロークを追加する

「キーストロークを追加...」のボタンをクリックすると、「キーストロークの登録」というダイアログボックスが現れます。キーストロークを入力して、その名前を登録してください。ポップアップメニューに追加されます。アプリケーションごとに異なる設定もできます。 [アプリケーションごとに設定を変える](#)

ポインタの速度を設定する

「ポインタの速度を設定 ...」のボタンをクリックすると、「ポインタの速度」のダイアログボックスを表示し、マウスモードでのポインタの速度と加速を設定することができます。



マウスモードでのポインタの加速を設定します。

マウスモードでのポインタの速度を設定します。

このダイアログボックスは、ペンスイッチに「ペン マウス モード」をはじめて選択したときにも表示されます。

メニューからペンモード（ペン）とマウスモード（マウス）のマッピングオプションを削除すると、このボタンは「マッピングオプションを追加」に変わり、ペンモードとマウスモードをもう一度メニューに加えることができます。**ペンモードでは**、画面のポインタの位置がペン先の位置に常に対応します。ペン先を近づけた瞬間、ポインタはペン先の位置に対応する場所に現れます。

マウスモードでは、タブレットの読み取り高さ以内でペンが動いたときだけ、動いた方向と距離に応じて画面のポインタが移動します。マルチディスプレイをご使用の場合、ペンですべてのディスプレイにポインタが届きます。

マッピングオプションを追加する

「ポイントの速度を設定 ...」のボタンの代わりに「マッピングオプションを追加」のボタンがあるとき、このボタンをクリックすると、[ペンモード（絶対座標）](#)、[マウスモード](#)、[クイックポイントモード](#)の3つのマッピングオプションが、ポップアップメニューにまとめて追加されます。（クイックポイントモードは A4 タブレット以上に限ります）

ポップアップメニューから項目を削除する

「削除」のボタンをクリックすると、ポップアップメニューのリストの中でハイライト表示されている機能が削除されます。マッピングオプションはまとめて削除されます。（「Shift」キーを押しながらクリックすると複数を選択できます。）

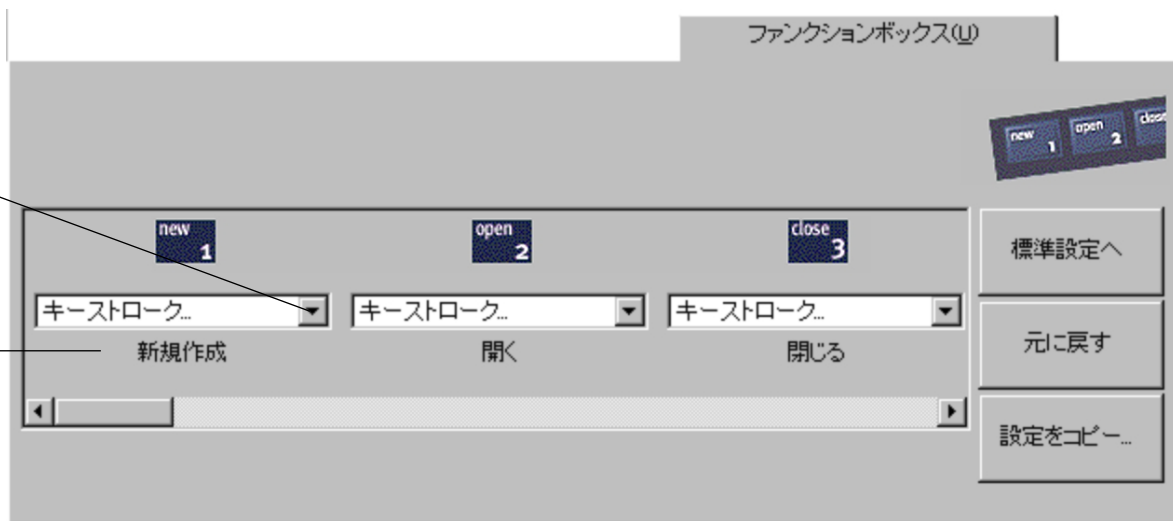
ファンクションボックスの機能を設定する

「ファンクションボックス」のタブを開いて、それぞれのボタンの機能を設定します。標準設定では、機能が印刷されていないボタン（A5 タブレット以上）には「無効」が選択されています。

ボタンが押されたときに働く機能を選択します。

「標準設定」を選択すると、キーストロークが、印刷されている機能に設定されます。

「キーストローク」をもう一度選択すると、キーストロークを変更できます。



各ボタンの機能はスクロールリストの以下の中から選択できます。



- (キーストローク名)-----登録されているキーストロークが働きます。
- 柔らかい筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を「柔らかい」に設定します。
- 硬い筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を「硬い」に設定します。
- 普通の筆圧感触-----ペン先やテールスイッチの筆圧感触を標準設定にします。
- ペンモード(絶対座標)----座標検出モードを「ペンモード」にします。
- マウスモード-----座標検出モードを「マウスモード」にします。ファンクションボックスではじめて「マウスモード」を選択すると、「ポインタの速度」のダイアログボックスが表示され、マウスモードでのポインタの速度と加速を設定することができます。
- クイックポイントモード---操作エリアを「クイックポイントモード」にします。(A4 タブレット以上)
- 無効-----押されても何もしません。入力デバイスがボタンの上に来てもボタンの番号は画面に表示されません。
- 標準設定-----ファンクションボックスを、台紙に印刷されている標準設定に戻します。
- 参考：**ファンクションボックスのボタンの機能は、アプリケーションごとに異なる設定ができますが、入力デバイスごとには異なる設定ができません。
- ボタンの設定を変えて長期間使用する場合は、ファンクションボックスの台紙に機能を鉛筆などで書き入れることができます。(A5 タブレット以上)

シリアルタブレットの接続を確認する

シリアルタブレットをお使いの場合、「接続」のタブを開くと、シリアルポートの接続状態を確認、設定できます。

選択されたシリアルポートの状態

正常に通信 タブレットは接続されて正常に通信しています。

反応なし タブレットはコンピュータと通信していません。

競合 他のアプリケーションがシリアルポートを使用しています。

ドライバ OFF .. タブレットドライバは OFF です。

チェックマークが付いていると、タブレットドライバは ON です。

すべてのシリアルポートの状態が表示されます。タブレットが使用しているポートが選択されます。他の機器が使用しているポートはグレーで表示されます。

グラフィックアプリケーションを使う場合はこちらを選択してください。

文字認識を使用する場合はこちらを選択してください。1つめの入力デバイスのみ使用でき、高速でデータをアプリケーションに送ります。

1つの入力デバイスしか使用できません。2つ同時に置かないでください。



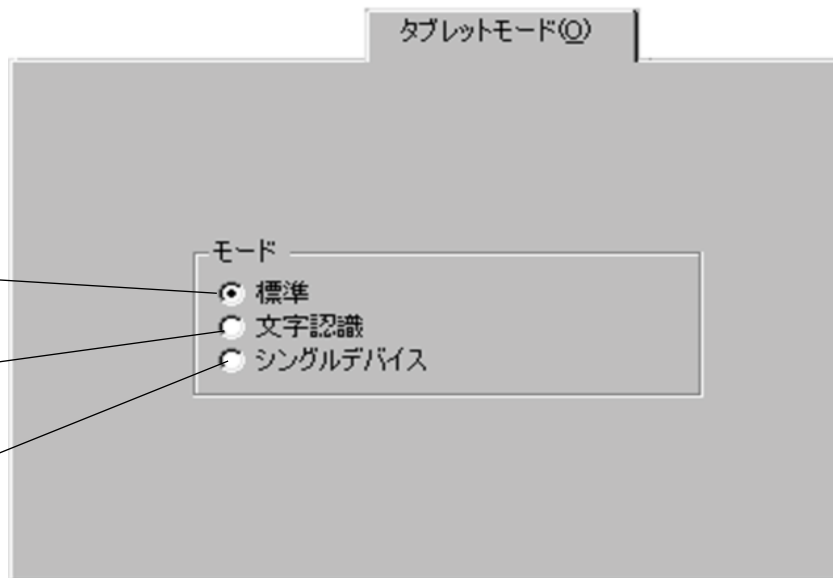
USB タブレットのモードを設定する

USB タブレットをお使いの場合、「タブレットモード」のタブを開くと、タブレットの動作モードを確認、設定できます。

グラフィックアプリケーションを使用する場合はこちらを選択してください。

文字認識を使用する場合はこちらを選択してください。1つめの入力デバイスのみ使用でき、高速でデータをアプリケーションに送ります。

1つの入力デバイスしか使用できません。2つ同時に置かないでください。



プルダウンメニュー

プルダウンメニューでは、コントロールパネルの総合的な操作をしたり、オンラインドキュメントへのアクセスなどを行います。

ワコム タブレット

ファイル(F) 編集(E) 追加(A) 削除(R) 言語(L) ヘルプ(H)

ファイルメニュー

設定一覧 ... ----- 現在の設定内容を一覧するダイアログボックスを開きます。

終了 ----- コントロールパネルを終了します。

編集メニュー

設定をコピー ... ----- 設定内容を他の入力デバイスやアプリケーションへコピーするダイアログボックスを開きます。「設定をコピー ...」のタブのボタンを押しても同じです。

設定をリセット ... ----- 設定内容をリセットするダイアログボックスを開きます。条件を選択して、標準設定や初期状態へ戻します。

入力デバイスを別名に ... ----- 入力デバイスに名前をつけるダイアログボックスを開きます。

一般設定 ... ----- 入力デバイスの右手用左手用の設定や、警告メッセージの ON/OFF、サイドスイッチのモードを切り替えるダイアログボックスを開きます。

追加メニュー

タブレットを追加 ... ----- タブレットを追加するダイアログボックスを開きます。 [複数のタブレットを接続する](#)



アプリケーションを登録 ... - アプリケーションリストに特定のアプリケーションを登録するダイアログボックスを開きます。コントロールパネルの「[アプリケーションを登録 ...](#)」のボタンを押すのと同じです。

入力デバイスを登録 ... - コントロールパネルの入力デバイスリストの中に入力デバイスを登録するダイアログボックスを開きます。「[入力デバイスを登録 ...](#)」のボタンを押すのと同じです。

削除メニュー

タブレットを削除 ... - 現在接続しているタブレットをコントロールパネルから削除するダイアログボックスを開きます。(1つしかないときは削除できません)

アプリケーションを削除 ... - アプリケーションリスト内に登録されている特定のアプリケーションを削除するダイアログボックスを開きます。

入力デバイスを削除 ... - コントロールパネルから入力デバイスを削除するダイアログボックスを開きます。(1つしかないときは削除できません)

言語メニュー

コントロールパネルを英語表示にすることもできます。

ヘルプメニュー

ヘルプ ... - ヘルプを開きます。

マニュアル ... - マニュアルを開きます。

使いはじめのコツ ... - タブレットや入力デバイスをはじめてお使いになる方のために、簡単なアドバイスを表示します。

診断 ... - タブレットや入力デバイスの動作確認のための情報を表示します。

バージョン情報 ... - コントロールパネルやタブレットドライバについての情報を表示します。

ペン先の筆圧感触を詳細に設定する

「ペン先の感触」のタブの「詳細設定へ...」のボタンをクリックしてください。クリック荷重と筆圧曲線を独立して設定できます。（簡易設定では、スライダを動かすことによりクリック荷重と筆圧曲線は連動して変わります。）

重要：スライダを一度動かすと簡易設定が適用され、詳細設定の内容は消えてしまいます。

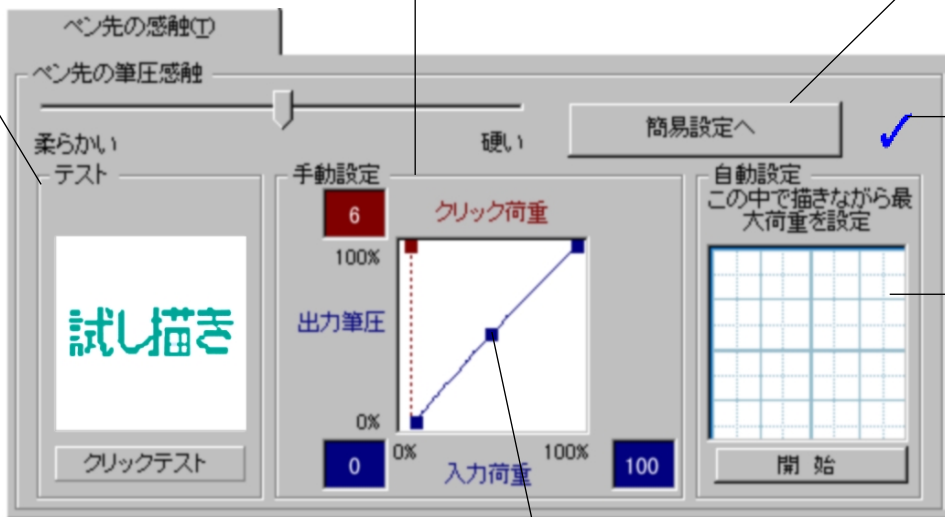
変更した設定を使用する前にテストしてください。

クリック荷重と筆圧曲線を
手動で設定します。

簡易設定を表示します。

詳細設定をするとチェック
マークが付きます。

絵を描く要領で、この中で荷重
を変えながら何回か試し描きし
てください。荷重のかかり方を
もとにして最大入力荷重が自動
設定されます。



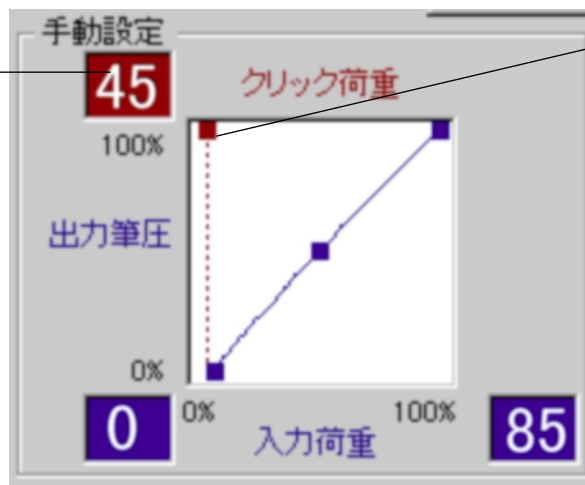
筆圧曲線がペンからの入力荷重とアプリケーションへの出力筆圧の
関係を表します。ハンドルを動かして曲線を変えることができます。

クリック荷重を調整する

ペン先でクリックするのに必要な荷重を設定します。

クリック荷重

最大入力荷重の何%でクリックが起きるかを設定します。1から50%の間で入力するか、クリック荷重設定バーをドラッグします。



クリック荷重設定バー

筆圧曲線との交点が、クリック荷重とクリック筆圧を表します。

一般に、グラフィックアプリケーションを使用するときは、クリック荷重と[最小入力荷重](#)は同じに設定するのがよいでしょう。

筆圧曲線を調整する

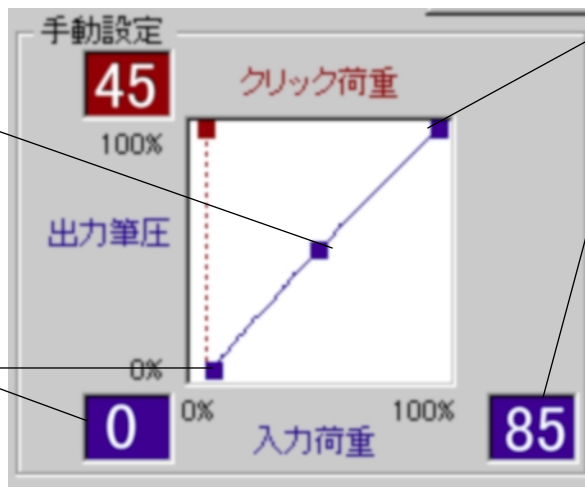
筆圧曲線の膨らみ方を変えることにより、ペン先の筆圧感触を変えることができます。たとえば、左上に膨らませるほどより敏感になります。

筆圧曲線の左端のハンドルを左右に動かすことによりアプリケーションに筆圧が出る最小の荷重を設定します。筆圧曲線の左端より左の荷重範囲では出力筆圧は0となります。

筆圧曲線の右端のハンドルを左右に動かすことによりアプリケーションに伝わる筆圧が最大になる最小の入力荷重を設定します。曲線より右の荷重範囲では出力筆圧は最大となり、これより強く押ししても出力筆圧は増えません。たとえば、筆圧感触を「柔らかい」にしている、力を入れなくても最も太く描けるようにしたいときは、最大入力荷重を小さくします。最大入力荷重の標準設定は 100% です。

ハンドルを上下左右に動かして筆圧曲線の膨らみ方を変えることにより、筆圧感触を変えます。

ハンドルを左右にドラッグするか、数字を入力して最小入力荷重を設定します (0 ~ 80%)。



ハンドルを左右にドラッグするか、数字を入力して最大入力荷重を設定します (20 ~ 100%)。



最大入力荷重を自動設定します。「開始」ボタンを押して、荷重を変えながら何回か試し描きしてください。最大入力荷重を反映しながらハンドルが動き、数字が変わります。やり直すときは、もう一度「開始」ボタンを押してください。



絵を描く要領で、この中で荷重を変えながら何回か試し描きしてください。荷重のかかり方をもとにして最大入力荷重が自動的に設定されます。

自動設定を始める前に押してください。最大入力荷重の設定が解除されます。

テールスイッチの筆圧感触を詳細に設定する

「テールスイッチの感触」のタブの「詳細設定へ ...」のボタンをクリックしてください。クリック荷重と筆圧曲線を独立して設定できます。

設定方法は[ペン先の筆圧感触を詳細に設定する](#)のと同じです。

重要：スライダを一度動かすと簡易設定が適用され、詳細設定の内容は消えてしまいます。

マッピングを詳細に設定する

詳細マッピングでは、多くのマッピングを設定できます。操作面をいくつかの操作エリアに分けて、それぞれを独立して画面に割り当てることができます。また、1つ1つのマッピングも、細かく正確に設定できます。「マッピング」のタブをある程度使い慣れてから、詳細マッピングをお試しになることをおすすめします。

右の座標の表示オプションを変更します。(単位、起点、範囲の定義)

新しいマッピングを追加します。

選択されているマッピングを削除します。(削除するマッピングを選択してください)

選択したマッピングを前に出したり背面に送ったりします。

マッピングを番号で選択します。(表示されている長方形をクリックしても選択できます)

「操作エリアの一部」のダイアログボックスを開いて、操作エリアを設定します。

選択されているマッピングの操作エリアを表します。

選択されているマッピングの表示エリアを表します。

操作エリアから表示エリアへの伸縮比を設定します。(「タブレットとの関係」が「等倍」以外の場合)

「画面の一部」のダイアログボックスを開いて、表示エリアを設定します。



設定手順の例

1. 座標の表示オプションを設定

「表示オプション ...」のボタンをクリックしてダイアログボックスを開き、プルダウンメニューから選択します。

2. 設定する操作エリアを選択

該当するマッピングの操作エリアをクリックするか、「番号で選択 ...」を開いて選択します。

3. 操作エリアを設定

簡単に設定するには、ウィンドウ内に表示されている、操作エリアを表す長方形の頂点のハンドルをドラッグして形や大きさを設定し、次に、長方形をドラッグして場所を設定します。(ドラッグできるときは、ポインタが手の形に変わります。)

正確に設定するには、「ダイアログで設定」のボタンから「[操作面の一部](#)」のダイアログボックスを開いてください。

4. 「タブレットとの関係」を設定

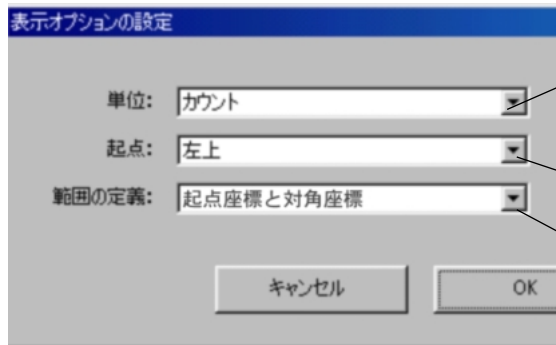
設定方法は「マッピング」タブの「タブレットとの関係」と同様です。

「等倍」に設定すると、操作エリアの1センチがアプリケーションでも1センチとして表示されます。(モニタの解像度を72ドット/インチで計算)

「伸縮比」のダイアログボックスは、「タブレットとの関係」が、「縦横比を保持」か「四隅を一致」のとき開くことができ、正確に設定できます。

操作エリアから表示エリアへの縮小率を入力します(拡大される場合は1より小さくなります)。

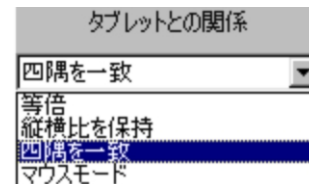
「四隅を一致」のときは、縦(Y)と横(X)の縮小率をそれぞれ設定できます。



インチ、ミリメートル、ポイント、カウントから選択します。(カウントはタブレットの解像度の線1本か、画面の解像度の1ピクセルです。)

エリアの起点を左上にするか、左下にするかを選択します。

エリアを起点座標と対角座標で表示するか、起点座標と辺の長さで表示するかを選択します。



5. 表示エリアを設定

簡単に設定するには、ウィンドウ内に表示されている、表示エリアを表す長方形の頂点のハンドルをドラッグして形や大きさを設定し、次に、長方形をドラッグして場所を設定します。(ドラッグできるときは、ポインタが手の形に変わります。)

正確に設定するには、「**ダイアログで設定**」のボタンから「[画面の一部分](#)」のダイアログボックスを開いてください。

6. マッピングを追加

「**マッピングを追加**」のボタンをクリックすると、新しいマッピングが1つ追加されます。

複数のマッピングが完全に重なった場合は、「**番号で選択 ...**」のボタンをクリックしてダイアログボックスを開き、番号を入力して選択できます。

「**前面へ出す ...**」のボタンをクリックすると選択されたマッピングが最前面に、「**背面に送る ...**」をクリックすると最背面に送られます。

7. 最後に「OK」ボタンをクリックして、詳細マッピングを終了します。

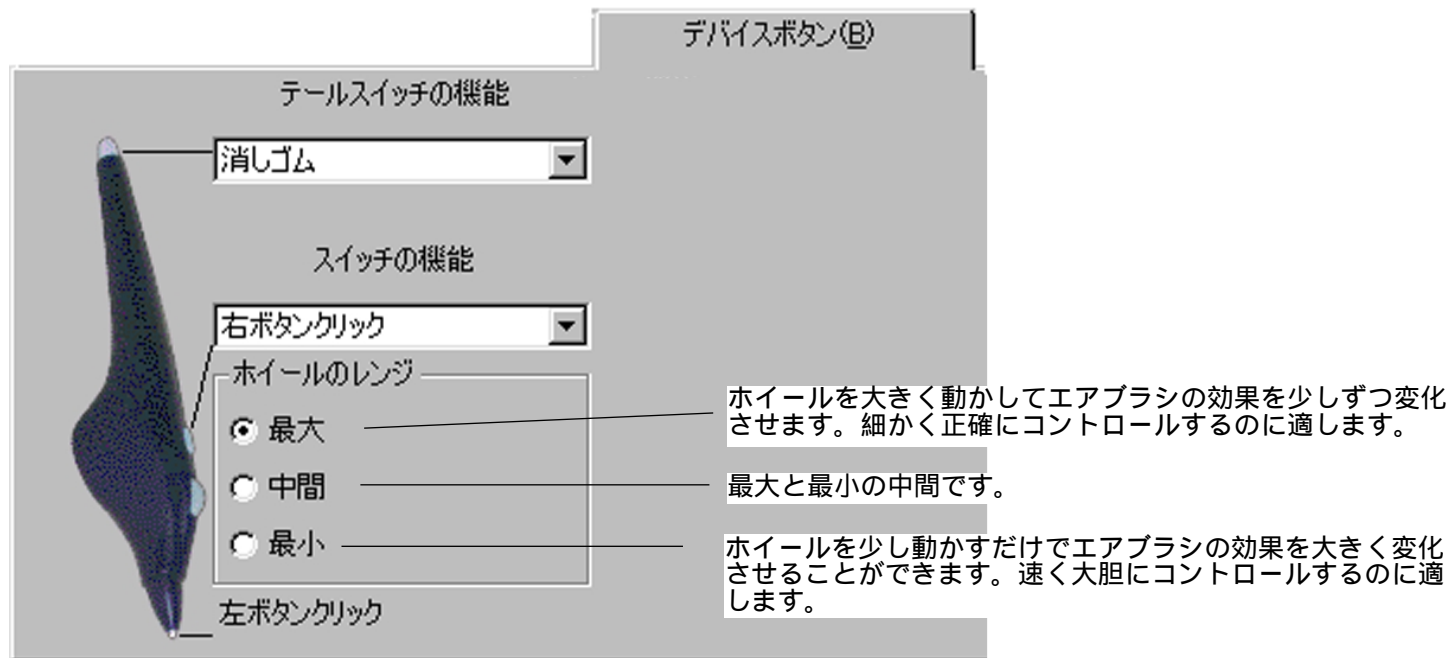
参考：マッピングのタブには、詳細マッピングで設定した1番のマッピングが現れます。[設定内容を他へコピーする](#)ことにより、詳細マッピングを他の入力デバイスやアプリケーションでも活用できます。

選択中の入力デバイスに属する詳細マッピングを一度にすべて削除するには、マッピングのタブの「**標準設定へ ...**」のボタンをクリックします。このとき、マッピングは標準設定になります。

プロフェッショナルデバイスを設定する

エアブラシのホイール

「デバイスボタン」のタブを開くとエアブラシのホイールの感度を設定できます。



デバイスボタン(B)

テールスイッチの機能

消しゴム

スイッチの機能

右ボタンクリック

ホイールのレンジ

最大

中間

最小

左ボタンクリック

ホイールを大きく動かしてエアブラシの効果を少しずつ変化させます。細かく正確にコントロールするのに適します。

最大と最小の中間です。

ホイールを少し動かすだけでエアブラシの効果を大きく変化させることができます。速く大胆にコントロールするのに適します。

ホイールは、手前に回すと効果が強くなります。たとえば、ホイールを使ってインクの流量をコントロールするアプリケーションでは、ホイールを手前に回すとスプレーは濃く出ます。

どんなアプリケーションが筆圧に対応しているかについて、ホームページで見ることができます。

4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する

「デバイスボタン」のタブを開いて、4D マウスやレンズカーソルのボタンを設定します。



ボタンを押したときに働く機能を選択します。

参考：ボタン機能の左右の配列を切り替えるには「[編集メニュー](#)」のプルダウンメニューから「一般設定」を開いてください。

チェックマークが付いていると、4D マウスやレンズカーソルを、ボタンスイッチのボックスとしてのみ使用します。 [4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う](#)

4D マウスやレンズカーソルのボタンスイッチの機能は、ペンスイッチと同じように設定することができます。 [ペンスイッチやボタンスイッチに設定できる機能](#)

ボタンスイッチは、キーボードと同じように組み合わせると同時に押すことができます。たとえば、「Ctrl」キーに設定されたボタンと「Z」キーに設定されたボタンを同時に押すと、キーボードで「Ctrl-Z」を押すのと同じになります。

4D マウスとレンズカーソルのボタンスイッチのみ使う

A5 タブレット以上で、ペンの他に、4D マウスかレンズカーソルをお使いの場合、これらをボタンスイッチのボックスとしてのみ使用することができます（ポインタ移動には使用できません）。

1. 4D マウスやレンズカーソルの「[デバイスボタン](#)」のタブの中で「**ボタンスイッチのみ使用**」を選択してください。
2. よく使うショートカットキーなどをデバイスボタンに設定しておくことで、キーボードに手をのばさずタブレットを使うことができます。
3. カーソルを操作面のどこかに置いてください。押されたボタンの機能がアプリケーションに伝わります。絵を描いたり、ポインタを操作するには、もう一つの入力デバイスを使用します。

「ボタンスイッチのみ」の場合の各ボタンの機能は、カーソルでポインタを操作するときと同じです

[4D マウスとレンズカーソルのボタンを設定する](#)

4D マウスの ホイールを設定する

「ホイール」のタブを選択して、4D マウスのホイールの機能と感度を設定します。

マイクロソフト社の IntelliMouse™
の機能

ホイールの状態をアプリケーションに直接伝えます。4D マウスのホイールに対応したアプリケーションが必要です。

ホイールを動かすと、ここに設定したキーストロークが繰り返しアプリケーションに送られます。キーストロークを設定するには「設定」ボタンを押します。

ペン先や消しゴムの筆圧とは別の筆圧として使用します。ホイールを前に押したり後ろに引いたりすると、筆圧が増えます。

ホイールを回しても何もしません。

選択すると、ホイール機能の前方と後方が入れ替わります。



ホイールの感度を設定します。「最大」を選択すると、ホイールの動きに対して結果が大きく反応し、速く大胆にコントロールするのに適します。

どんなアプリケーションが 4D マウスのホイールに対応しているかについて、ホームページをご覧ください。<http://tablet.wacom.co.jp/>

お使いのアプリケーションの説明書を参照になり、ホイールの機能を活用ください。

アプリケーションごとに設定を変える

各アプリケーションの特徴や用途に合わせて、タブレットや入力デバイスに対してアプリケーションごとに異なる設定をしておく、使用するアプリケーションに応じて設定が自動的に切り替わります。

ステップ 1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録

コントロールパネルのアプリケーションリストに特定のアプリケーションを登録します。

ステップ 2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定

アプリケーションリストから、設定したいアプリケーションを選択し、そのアプリケーションの特徴や用途に合わせて入力デバイスを設定します。

すでに登録してあるアプリケーション用の設定内容を、新しく登録したアプリケーション用の設定内容としてコピーすることもできます。

ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

使用しているアプリケーションを切り替えると、タブレットや入力デバイスの設定が自動的に切り替わります。

ステップ 1... アプリケーションリストにアプリケーションを登録

アプリケーションリスト

この中にアプリケーションを登録すると、アプリケーション特有の設定ができます。

アプリケーションリストに特定のアプリケーションが登録されると、「すべて」という名前のアイコンが「その他のすべて」に変わります。

アプリケーションリスト

すべて

アプリケーションを登録...

デバイスリスト

グリップペン 4Dマウス エアブラシ 2Dマウス

入力デバイスを登録...

OK

キャンセル(N)

保存(V)

ヘルプ(Q)...

ペン先の感触(I) | ダブルクリック(D) | デバイスボタン(B) | 消しゴムの感触(Z)

傾き(O) | マッピング/ポインタの速度 (M) | ポップアップメニュー(P) | ファンクションボックス(U) | 接続(C)



アプリケーションリストにアプリケーションを登録する手順

1. 「アプリケーションを登録 ...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「アプリケーションを登録 ...」を選択してください。以下のようなダイアログボックスが現れます。

現在開かれていて、まだアプリケーションリストに登録されていないアプリケーションが表示されます。登録したいアプリケーションを選択してください。

登録したいアプリケーションが開かれていない場合は、ここをクリックするとダイアログボックスが表示されます。登録したいアプリケーションのファイルなどを見つけて開いてください。開くと、上のボックスに現れます。

複数のタブレットを接続している場合は、登録するアプリケーションが所属するタブレットを選択してください。



アプリケーションが選択されるとここに表示されます。

選択できたらクリックします。

1つの入力デバイスだけをお使いの場合、以上で登録は完了です。アプリケーションが登録されるとそのアイコンがリストの中に現れ、「すべて」のアイコンが「その他すべて」に変わります。まず、特定のアプリケーションを1つ登録しているいろいろな設定を試してください。



- 複数の入力デバイスをお使いの場合、「アプリケーションに入力デバイスを追加」というダイアログボックスが現れます。登録したアプリケーションの入力デバイスリストに複数の入力デバイスを含める場合は、選択して「OK」をクリックしてください。



上記アプリケーションの入力デバイスリストに入る入力デバイスを選択します。選択しないものは、「その他」のアプリケーションの入力デバイスリストに残ります。

アプリケーションが登録されると、そのアイコンがリストの中に現れ、「すべて」というアイコン名が「その他すべて」に変わります。

ステップ 2... アプリケーションごとに入力デバイスを設定

アプリケーションリストの中でアプリケーションを選択してから、アプリケーションの用途や特徴に合わせてタブを設定してください。その設定内容は選択したアプリケーションに専用のものとなります。（「その他すべて」を選択してからタブを設定すると、その設定内容は「その他すべて」に含まれるアプリケーションに対して共通のものとなります。）

複数の入力デバイスをお使いの場合、アプリケーションリストの中で特定のアプリケーションを選択すると、入力デバイスリストにはそのアプリケーションに属して設定できる入力デバイスだけが現れます。それぞれの入力デバイスを選択してタブを設定してください。（アプリケーションリストの中で「その他すべて」を選択すると、入力デバイスリストにはコントロールパネルに登録されているすべての入力デバイスが現れます。）

特定のアプリケーションの設定を削除する

アプリケーションを使わなくなったら次の手順で登録を削除できます。

1. 「削除」のプルダウンメニューから「アプリケーションを削除 ...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。
2. アプリケーションメニューから削除したいアプリケーションを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

ステップ 2 が終わったら準備は完了です。使用するアプリケーションが変わると、タブレットや入力デバイスの設定が自動的に切り替わります。

複数の入力デバイスが登録され入力デバイスごとにタブが設定されていると、入力デバイスを持ち替えたときも設定が自動的に切り替わります。... [入力デバイスごとに設定を変える](#)

入力デバイスごとに設定を変える

各入力デバイスの特徴や用途に合わせて、入力デバイスごとに異なるタブの設定をしておくと、入力デバイスを持ち替えるだけでタブの設定が自動的に切り替わります。

ステップ 1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録

コントロールパネルの入力デバイスリストに入力デバイスを登録します。

ステップ 2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定

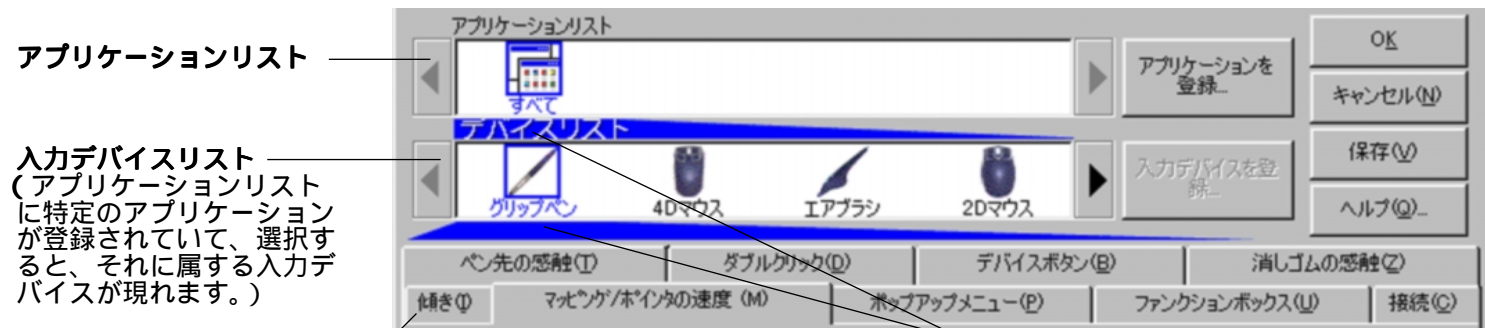
入力デバイスリストから、設定したい入力デバイスを選択し、その入力デバイスの用途や特徴に合わせてタブを設定します。

すでに登録してある入力デバイス用のタブの設定内容を、新しく登録した入力デバイス用の設定内容としてコピーすることもできます。

ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

使用している入力デバイスを持ち替えると、タブの設定が自動的に切り替わります。

ステップ 1... 入力デバイスリストに入力デバイスを登録



アプリケーションリスト

入力デバイスリスト
(アプリケーションリストに特定のアプリケーションが登録されていて、選択すると、それに属する入力デバイスが現れます。)

入力デバイスリストの中で入力デバイスを選択すると、それに属するタブの設定が変わります。

横に長い三角形の頂点は、設定内容が所属するアプリケーションや入力デバイスを示します。

タブレットをインストールしてから最初に操作面で使った入力デバイスは、自動的に入力デバイスリストに現れ、標準設定が適用されます。コントロールパネルを開いて設定することができます。「保存」ボタンか「OK」ボタンを押すと、入力デバイスが登録されタブの設定が保存されます。

まだコントロールパネルに登録されていない入力デバイスを登録する

コントロールパネルを開かずに、次の新しい入力デバイスを操作面で使用すると、「新しい入力デバイス」というメッセージボックスが現れ、この入力デバイスをコントロールパネルの入力デバイスリストに登録するかどうか聞いてきます。その入力デバイスを今後もお使いになる場合は、コントロールパネルを開いて「OK」か「保存」ボタンを押してください。入力デバイスが登録されます。登録せずにコンピュータを再起動してその入力デバイスをまた使うと、同じメッセージボックスが開きます。コントロールパネルを開いているとき新しい入力デバイスを操作面で使用すると、自動的に入力デバイスリストに現れ、標準設定が適用されます。



コントロールパネルを開いてから新しい入力デバイスをマウスなどを使って登録する場合は、「入力デバイスを登録 ...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「入力デバイスを登録 ...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。ダイアログボックスの中で「新しい入力デバイスを登録 ...」を選択して「OK」をクリックし、画面の指示に従ってください。その入力デバイスを今後もお使いになる場合は、コントロールパネルの「OK」か「保存」ボタンを押してください。

こちらをクリックする。

入力デバイスを登録

登録先タブレット:
intuos2 i-920

新しい入力デバイスを登録.
 登録済み入力デバイスを他のアプリケーションにも登録:

アプリケーション(複数選択可):
PhotoShop

入力デバイス(1つ選択):
ペン

ヘルプ キャンセル OK



コントロールパネルに登録済みの入力デバイスを特定のアプリケーションにも登録する

すでに登録されている入力デバイスを、特定のアプリケーションの入力デバイスリストに登録するには、「入力デバイスを登録 ...」のボタンをクリックするか、「追加」のプルダウンメニューから「入力デバイスを登録 ...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。

複数のタブレットをご使用の場合は、登録先のアプリケーションが所属するタブレットを選択してください。

登録先のアプリケーションを指定する場合はこれを選択します。

登録先となるアプリケーションを指定します。アプリケーションリストに登録されているものが表示されます。

登録する入力デバイスを指定してください。登録先アプリケーションの入力デバイスリストにまだないものが表示されます。

特定のアプリケーションに入力デバイスリストを作るには... [アプリケーションごとに設定を変える](#)

入力デバイスを登録

登録先タブレット:
intuos2 i-920

新しい入力デバイスを登録

登録済み入力デバイスを他のアプリケーションにも登録:

アプリケーション(複数選択可):
PhotoShop

入力デバイス(1つ選択):
ペン

ヘルプ キャンセル OK

「OK」をクリックしてください。入力デバイスリストに入力デバイスが登録されます。

ステップ 2... 入力デバイスごとに入力デバイスを設定

「入力デバイスリスト」の中で入力デバイスを選択すると、選択した入力デバイスに属するタブが表示されます。それぞれの入力デバイスを、用途や特徴に合わせて設定してください。タブの設定内容は、選択されている入力デバイスに対してのみ適用されます。([共通](#)のタブを除きます)

入力デバイスの設定を削除する

登録された入力デバイスは次の手順で設定を削除できます。

1. 「削除」のプルダウンメニューから「入力デバイスを削除 ...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。
2. 削除する入力デバイスを選択します。完全に削除する場合は「入力デバイスを完全に削除」を選択します。部分的に削除する場合は、「特定の ...」を選択し、どのタブレットから削除するか（複数タブレット使用時）と、どのアプリケーションから削除するかを指定します。
3. 「OK」ボタンをクリックします。

ステップ 3... 設定が自動的に切り替わります

ステップ 2 が終わったら準備は完了です。入力デバイスを持ち替えると、タブの設定が自動的に切り替わります。

特定のアプリケーションごとにタブが設定されていると、アプリケーションを切り替えたときもタブの設定が自動的に変わります ... [アプリケーションごとに設定を変える](#)

同じタイプの入力デバイスを複数使う

タブレットは同じタイプの入力デバイスを何本でも識別します。入力デバイスひとつひとつに書き込まれているデバイス ID をタブレットが識別しますので、ある入力デバイスのためにコントロールパネルで設定した内容は、その入力デバイスに対してのみ働きます。

入力デバイスリストに同じタイプの入力デバイスが登録されると、同じ名前のあとに番号が自動的に付きます。番号付きの名前は変更することができます。「編集」のプルダウンメニューから「入力デバイスを別名に ...」を選んでダイアログボックスを開いてください。

同じタイプの入力デバイスを同じ設定で使いたいときは、タブごとに設定をコピーすることができます ... 次のページ。

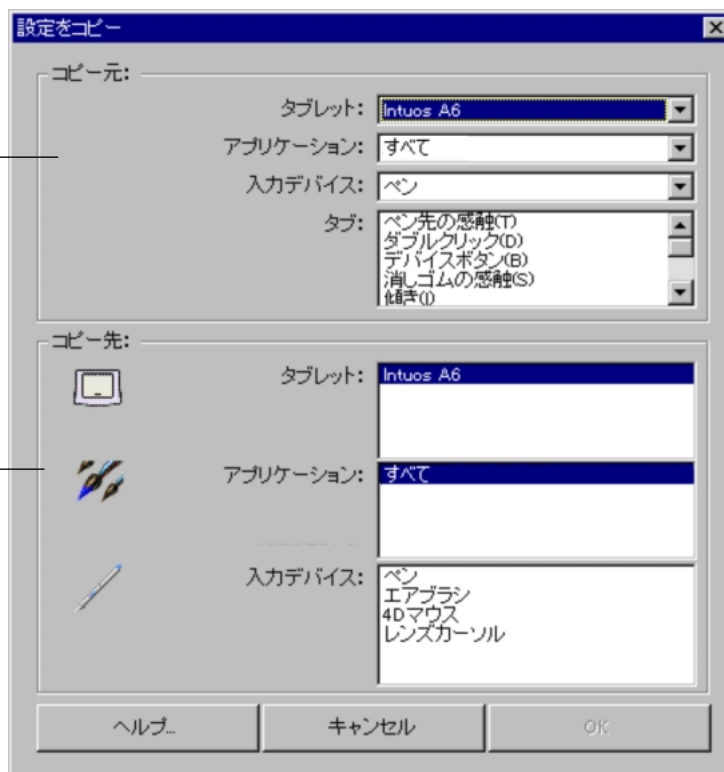
設定内容を他へコピーする

ある入力デバイスやアプリケーションの設定を、他の入力デバイスやアプリケーションへコピーするには、「設定をコピー ...」のボタンをクリックするか、「編集」のプルダウンメニューから「設定をコピー ...」を選択して、ダイアログボックスを開いてください。

異なるタイプの入力デバイスへ設定をコピーする場合は、[共通](#)のタブの設定内容をコピーできます。

コピー元とコピーする設定内容を指定します。

コピーした設定内容のコピー先を指定します。



複数のタブレットを接続する

タブレットを追加するには、まず、タブレットをコンピュータに接続します。

シリアルタブレットの場合

Plug & Play でインストールできる場合は、システムがシリアルポートを探します。新しいタブレットが見つかりるとシリアルポートが自動的に初期化されます。

Plug & Play でインストールしない場合は、「追加」のプルダウンメニューから「タブレットを追加...」を選択し、ダイアログボックスを開きます。「シリアルを追加」のボタンをクリックして、画面の指示に従ってください。

USB タブレットの場合

システムが USB ポートを探します。新しいタブレットが見つかりると USB ポートが自動的に初期化されます。場合によっては再起動が必要です。

2 台目以降のタブレットをコンピュータに接続してからコントロールパネルを開くと、アプリケーションリストの上にタブレットリストが現れます。このときタブレットリストには、接続されているタブレットのアイコンがそれぞれ表示され、コントロールパネルを開くのに使用したタブレットが選択されています。他のタブレットのアイコンを選択すると、そのタブレットに対してアプリケーションや入力デバイスの設定ができます。

タブレットリスト

タブレットを選択し、アプリケーションや入力デバイスについてタブを設定します。

